

平成 30 年度 第 12 回西区自治協議会会議録

日時：平成31年3月27日（水）午後2:00～

会場：西区役所健康センター棟3階 大会議室

〈1 開会〉

〈2 議事（1）市長と西区自治協議会委員との懇談会〉

（岩協会長）

それではただいまから市長と西区自治協議会委員との懇談会を始めさせていただきます。本日はまず中原市長より「2019年度 新潟市の取り組み」についてご説明をいただきます。その後、委員の皆さんから自治協やコミ協の地域での活動などについて、市長へご紹介をお願いいたします。市長からの説明は15分程度、皆さん方の活動紹介及び意見交換40分程度、全体で概ね1時間を予定しております。午後2時55分までの予定です。なお、意見交換につきましては、本日は自治協委員との懇談の場であることから、ご発言は委員の方に限らせていただきます。それでは市長、よろしくお願いします。

（中原市長）

皆さん、こんにちは。今日は貴重な時間をいただきまして、誠にありがとうございます。西区自治協議会の皆さまにおかれましては、地域の協働の要として、地域のさまざまな課題解決のために大変ご尽力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。本日は、「2019年度 新潟市の取り組み」として、新年度における本市の重点的な取り組みについてご説明させていただきます。

それでは最初に2019年度、新潟市が目指す姿についてです。新年度は政令指定都市の第2ステージとして、未来に向かって「全国とつながる」、「世界とつながる」拠点都市・新潟を目指し、活力ある新潟市に向けた取り組みを加速させていく年としたいと考えています。新潟の玄関口となる新潟駅や、また駅周辺地域の整備、新潟空港・新潟港の活性化を進めるなど、国と県との連携を強化して、拠点性の向上を図ってまいります。

次のページです。新年度予算編成のポイントについてです。一般会計の当初予算総額は、今年度との比較で120億円、3.2%増の、総額3,922億円となります。基金については、市民の皆さまからご関心をいただいていることから、基金積立額を今年度の2億円といたしましたが、来年度は5億円とし、引き続き基金取崩しに頼らない予算とさせていただきます。また、臨時財政対策債を除くプライマリーバランスは、17億円の黒字となります。

次のページをお願いします。新潟市の現在の人口構成を見ますと、今後も人口減少は避けられず、持続可能な行財政運営は不可欠です。そのため、2019年度からの3年間を集中改革期間と位置付け、選択と集中を徹底的に実施していきます。基本的な考え方ですが、役割や効果が低下している事業や、施設等を洗い出し、改善手法を見直し、実行することによって、ニーズの高い事業に投資できる財政基盤の確立を図ってまいります。具体的に

は、「行政改革プラン2018」から財政基盤の強化につながる項目を抽出し、仮称ですが「集中改革プラン」としてスピードアップし、具体化・強化を図ることとしておりまして、新しい組織として総務部内に担当部署を設けて改革を進めていきます。

次のページをお願いします。2019年度の新潟市の取り組みについてです。ここからは「いがた未来ビジョン」の3つの都市像に沿って、2019年度の具体的な取り組みについて説明いたします。次のページをお願いします。

はじめに、都市像Ⅰ「市民と地域が学び高め合う、安心協働都市」についてです。ずっと安心して暮らせるまちの分野です。新潟市の人口と高齢化をお話しさせていただきますと、2015年では人口81万人のうち、65歳以上の高齢者が約22万人。高齢化率は27%でした。高齢化率が21%を超えますと超高齢社会となりますが、新潟市はすでに超高齢社会に突入しているということです。10年後の2025年の推計では、人口79万人のうち高齢者が約25万人、高齢化率が30%となります。2015年では、65歳以上の高齢者を現役世代2.3人で支える状況が、2040年度では1.4人にまで減少する推計データもあります。

また皆さんご承知のように、一人暮らしの高齢者世帯数も年々増加をし、2015年で約3万世帯となります。このような状況を踏まえ、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域力・市民力、こうした力を活かして、地域での居場所づくりや助け合いの仕組みづくりを進め、地域で医療や介護が受けられる地域包括ケアシステムをさらに発展させてまいります。訪問型生活支援モデル事業として、有償の助け合い活動の仕組みづくりに着手するなど、地域内における助け合いの活動を広げていきます。

次、お願いします。「お年寄りが元気なまちに向けた取り組み」についてです。加齢により、心身の活力低下が起こることよえを「フレイル」と呼ぶそうですが、フレイル予防を推進する取り組みとして、フレイルチェックをモデル実施するほか、口腔機能が低下している状態である「オーラルフレイル」についても、予防のための取り組みを実施していきます。

次のページをお願いします。「妊娠・出産・子育ての一貫した支援」についてです。まず子どもを産み育てたい方が、その希望をかなえられるよう、こども医療費制度の通院助成の対象年齢を、現在の小学6年生から中学3年生までに引き上げ、子育て世帯の皆さまの経済的負担の軽減を図りたいと考えております。また、通年の待機児童ゼロを目指し、保育施設の充実を図るとともに、病児保育をはじめとした多様な保育サービスを提供していきます。さらには放課後児童クラブの整備などの取り組みを着実にを行うことで、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進していきます。

次をお願いします。「学・社・民の融合による教育を推進するまち」の分野です。新潟らしい教育の実現については、学力向上の取り組みによって、平成30年度全国学力テストにおける小学校での平均正答率が、国語Bと算数Aで、政令市1位となるなど、成果が見られておりまして、中学入学後もこの学力の維持・向上がさらに図られるよう、取り組んでいく必要があります。自分の力に自信をもって、心豊かな子どもを育む学校教育の推進として、学校間の情報共有や校務の効率化を図るため、教育ネットワークの構築を進めて

いきます。そのほか、学校事務支援員や部活動指導員の配置を充実させることで、教員の多忙化解消を図り、より質の高い教育に向けた環境づくりを行っていきます。

次に、都市像Ⅱ「田園と都市が織りなす、環境健康都市」についてです。まちなか再生、都心軸の明確化に向けて、県とともに駅、万代、古町をつなぐ、ここを都心軸と呼んでいきますけれども、都心軸を中心としたまちづくりの未来を描いた都心の都市デザインの実現に向け、駅、万代をつなぐ公共空間の利活用として、賑わいの創出に向けた取り組みを行うほか、万代地区の民間開発への支援を行うなど、まちなかの活性化を進めていきます。

次にさらにまちなか活性化に向けて、次世代につながる魅力ある店舗への支援として、中心市街地の空き店舗を活用した取り組みを支援し、集客力を高め、古町地区の活性化を推進してまいります。また、現在大和跡地再開発ビルが少し形が見えてきましたけれども、（仮称）「市役所ふるまち庁舎」の完成後、市役所機能の一部を移転させる予定です。整備を進めてまいります。

次に、BRT・新バスシステムについては、交通結節点やバス停の改良などを交通事業者とともに進め、多くの方からご利用いただけるよう改善に努めてまいります。

次お願いします。健康寿命の延伸ということが大きなテーマでございます。企業が行う健康経営の取り組みや大学との連携による「にいがたちよいしおプロジェクト」など、企業や地域との連携により、健康寿命延伸の取り組みを推進してまいります。

次のページは女性や若者などがいきいきと働ける環境づくりに向けた取り組みについてです。男女共同参画やワークライフバランスを推進するとともに、働き甲斐のある新潟地域創造事業として、市内企業が抱える人材確保あるいは定着といった課題がありますが、こうした課題に対応するため、中小企業が共同で行う採用から定着までの一貫した取り組みに対する支援を行っていきます。また、今までの移住促進の取り組みに加え、県と連携して首都圏から市内へ移住し企業に就職する方へ支援を行うなど、働きやすい環境づくりを推進してまいります。

ここからは、都市像Ⅲ「日本海拠点の活力を世界とつなぐ、創造交流都市」についてです。新潟にふさわしい役割を果たし、成長する拠点の分野では、ニューフードバレーの推進に向けて、元気な農業応援事業として、儲かる農業の実現に向け、県とともに新たな産地づくりを支援するなど、高収益な園芸作物の導入による複合営農を推進してまいります。さらに昨年県産米の中国への輸出解禁を受け、新たに輸出用米の生産拡大に向けた取り組みを支援してまいります。

次に、経済活力と雇用の創出についてです。内発型産業の育成、創業支援として、中小企業の生産性向上に資する設備投資への補助、事業承継に関する支援を行うほか、新事業への展開や創業につなげる支援を行っていきます。成長産業の育成と合わせ、既存産業の高度化を支援することで、経済活力と魅力的な雇創出いたします。

次に、成長産業の育成としては、航空機産業クラスターの推進として、航空機部品を地域内で一貫受注し、生産する体制づくりへの支援を行ってまいります。引き続き航空機産業をはじめ、成長産業を支援し、魅力的な雇創出の場を創出してまいります。

次に、日本海ゲートウェイ機能の強化についてです。これまで以上に県との連携を強化して、拠点性の向上に向けて、県都新潟の玄関口である新潟駅や、また駅周辺地域の整備を推進するとともに、新潟空港や新潟港の活性化に取り組んでいきます。

次に、独自の魅力を活かした交流促進についてです。デスティネーションキャンペーンや東京2020オリンピック・パラリンピックなど、交流人口拡大の好機ですが、こうした好機を捉え、港町文化や食文化など、新潟市独自の魅力を発信するとともに、国内外からの旅行者が本市での滞在を楽しんで快適に過ごせるよう、観光資源を活かしたエリアを形成し、おもてなし体制を強化することによって、交流人口の拡大に取り組んでいきます。

最後に、人口減少社会の対応についてです。新年度は、これまで行ってきた市への移住促進の取り組みに加え、県と連携し、首都圏から市内へ移住し、企業へ就職する方へ支援を行うなど、働きやすい環境づくりを推進していきます。これまで説明してきた3つの都市像の事業を着実に推進し、本市の魅力の底上げをすることで、人口流出抑制と流入促進につなげ、「住みよいまち・暮らしたいまち新潟」を実現していきます。

2019年度は、拠点都市新潟に向け、活力ある新潟市の実現を目指してまいりたいと思います。走り走りですが、私からの説明は以上とさせていただきます。ありがとうございました。

(岩協会長)

ありがとうございました。続いて、市長からもお話しがありましたが、委員からの地域活動等の紹介に移りたいと思います。この機会に、西区のことを中原市長によく聞いていただきたいと思います。できるだけ発表は簡潔にお願いします。なお、市長からは、自治協の活動紹介の後とコミ協等の活動紹介の後に、コメントをいただくことにしたいと思います。隣にありますA3横の参考資料をご覧ください。それでは、はじめに各部会長より発表をお願いします。それでは、第1部会長の犬谷委員からお願いします。

(犬谷部会長)

第1部会長の務めます1合意員の犬谷一男と申します。第1部会は、防犯、防災、自然環境、住環境等を所管分野としております。

私ども第6期の1年目は、防犯、防災、飛砂、治水など多岐に亘る課題の中で、西区で解決しなければならない問題として何があるのかを協議してまいりました。

協議しているうちに、「どのような問題がひそんでいるのか」まずは現場を知ることが必要であるということで、治水については「新川河口排水機場」、飛砂については「佐潟・赤塚砂丘地」と「国道402号線新潟海岸飛砂対策地」、防災については広域避難所に指定されている「寺尾中央公園および防災倉庫」をそれぞれ視察して課題の探究を行ってまいりました。

また、自治協議会提案事業として防災講演会と防犯講演会を実施いたしました。防災講演会では気象予報士の森田正光氏から「気象情報は防災の道しるべ」と題してご講演をい

ただき、災害に対して気象情報の正しい知識を持つことの重要性を学びました。新潟県防犯アドバイザーからもご講演をいただき、市民と共に防災や防犯に関する意識を高めることができました。

さらに、振り込み詐欺などの防犯について、西警察署との情報を共有する勉強会を実施し、知識を深めてまいりました。第6期の2年目は、特殊詐欺の被害防止をさらに啓発するために、心のすきまを狙う犯罪者達の詐欺手法やだまされる人の心の変化などについて、心理学者からご講演をいただきました。

また、新潟県内における特殊詐欺の現状と対策について、県警本部の知能犯捜査官からご講演をいただき、さらに女兒殺害事件もあって、犯罪防止と見守りと題して、同じ県警本部の安全安心推進室長からもご講演をいただきました。

講演会以外でも、防災の共助として、自主防災組織の結成率を高めるためにはどうしたら良いかを協議いたしました。また、災害発生時の要点を記載した防災カードの作成を検討し、これを完成させて西区全戸に配布いたしました。同時に、部会において各地域の見守りについての情報交換なども行いました。

さらに、除雪制度を確認するとともに除雪の支え合いについても、第2部会と合同で意見交換を行いました。空き家問題についても新潟市の取り組みについて勉強するとともに課題の探究を行い、ノウハウを持った団体との協働により、効果的な事業実施ができる公募、提案型協働事業の手法を活用して、次年度からの第7期において検討を進めることといたしました。

振り返ってみますと、随分と幅広く議論してきたように思います。また、第1部会は総じて活発であったと自己評価しております。以上、状況報告とさせていただきます。

(岩協会長)

続きまして、第2部会長の郷委員、お願いいたします。

(郷部会長)

第2部会です。第2部会の部会長をさせていただいている3号委員の郷です。よろしく申し上げます。第2部会は保健、福祉、文化、教育分野を所管する部会です。第6期は提案事業として、健康寿命延伸につながる講演会や地域課題に向けた事業募集を行いました。まず講演会です。29年度は人口減少、少子高齢化の進展におきまして、その課題を解決するために、高齢者が生き生きと暮らせる、そのようなことを感じてもらえるように生きていく素晴らしさとか、ご自身が病気を抱えながらも前向きに生きていく、そして人との出会いを大切にしていける、そのようなお話に、大変会場の皆様は共感して、有益な講演会とすることができたと思っております。

また平成30年度は引き続き健康寿命延伸に向けて、今度は実践のきっかけとなるような講演会ということで、東北大学加齢医学研究所長の川島隆太先生をお呼びしての講演会を開催いたしました。健康寿命延伸の講演会につきましては、川島先生は脳トレを実践なさっ

ている方なので、若い世代の方にも関心を持ってもらえるよう呼びました。例年に比べまして数名若い方も参加していらっしゃいましたが、まだまだ若い方に自治協の講演会を広げるには至らなかったという反省が出ています。

ただお話の中で参加者の感想を聞きますと、とてもいい話だったので息子世代に伝えたいとか、孫に話をしてあげたいとか、家族で話し合ってみたくとか、この先いろいろな所で広がっていくような話をさせていただいたという手ごたえを感じております。来年度以降、講演会以外の手法を検討し、より若い世代の参加者を増やしていきたいと考えております。

また、健康寿命延伸に向けて、スポーツ鬼ごっこの普及啓発事業を継続してやってきました。子どもからお年寄りまで、年代や性別を問わず、誰でも楽しめるスポーツとして、「スポーツ鬼ごっこ」を西区から発信していこうということで、数年にわたり継続している事業です。29年度には小学生の「西区CUP」を開催するまでになり、かなり小学校の子どもたちの間では普及しているという手ごたえを感じております。

30年度は地域課題解決に向けた事業募集を行ってみました。なかなか課題はたくさんありますが、私たち委員だけでは解決をする方法を探しきれないので、地域活動団体と区の自治協議会が連携することで、より高い効果が得られる事業を募集し、3つの事業を協働して実施しました。

急速に進む人口減少、少子超高齢化に対応するために、「地域カルテから始めるまちづくり、次の一歩ワークショップセミナー」。これは各コミ協に声をかけて、各コミ協の役員の方に参加していただいたワークショップを2回やり、地域での地域カルテを読み取るころから、次世代の育成等についての話し合いを行いました。どのコミ協の方も、これからはやはりやり方を少し考えて、若い世代が入っていけるような活動にしていきたいという意見をいただきました。

また健康寿命延伸を目的にスポーツ鬼ごっこ、カーリンコンの大会、講習会を開催しました。スポーツ鬼ごっこについては、今度は募集事業として団体が主体で行いましたので、自治協委員としましても支援するという形で応援していきました。またカーリンコンは本当に障がい者からお年寄り、いろいろな世代の方が簡単に楽しめて体を動かせるということで、とても良い大会、講習会を数多く開催していただくことができました。

第2部会といたしましては、このほかにも、昨年度の大雪を契機に、みんなで支え合いのしくみの具体例を話し合うことができました。先ほど第1部会から報告がありましたが、本会でもこの課題について話し合いができたということは、とても良い活動ができたのではないかと考えております。

また秋には、教育ミーティングも行っております。教育ミーティングには現場の校長先生、小学校、中学校のお二人から来ていただいて、地域と学校で何ができるかということ意見を交換していただきました。これからもまだまだ福祉分野、教育分野、たくさんの課題がありますが、第7期に向けて、課題を解決していく活動をしていきたいと思っております。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。それでは第3部会長の塩川部会長、お願いいたします。

(塩川部会長)

第3部会長を務めている塩川でございます。所管分野は、農林水産業、商工業、交通等です。第6期は、特産物などの区の魅力の発信や商店街等の活性化につながるように、自治協議会提案事業に取り組んだほか、区バスや住民バスといった生活交通について認識を深めました。

まずは、区の魅力を発信するために取り組んだ「特産物・観光地カレンダー事業」について説明を申し上げます。ご家庭に飾って、1年を通して見ていただける「カレンダー」に、市長もよくご存じの、西区の魅力である「くろさき茶豆」や「いもジェンヌ」、「新潟すいか」といった特産物をモチーフにしたキャラクターや「佐潟」や「日本海の夕日」をはじめとした魅力的な風景の写真を盛り込んで作成しました。作成したカレンダーを、区内だけではなく県外へも配布することで、区の魅力を広く発信することができました。また、新潟大学の学生からキャラクターのデザインやカレンダー全体の監修を行ってもらい、今年度の掲載写真は、高等学校の写真部の学生に撮影を依頼するなど、文教地区である特色を活かしながら、住民とともに制作に取り組むことができました。

次に、西区の拠点商業地である内野地域活性化のために取り組んだ「商店街等活性化研究・実践事業」についてです。平成28年度には、同地域の活性化策の企画・提案について、新潟大学、新潟国際情報大学へ委託し、研究いただきました。その結果、両大学から「空き店舗の活用による地域の情報発信、交流の場の創出」「若者文化を取り入れた集客につながるイベントの定期開催」といった、活性化についての企画・提案がありました。

これを活かし、平成29年度は、両大学の学生研究チーム、新潟西商工会青年部などの若手実働メンバーで構成される内野地域商店街活性化ワーキングチームとともに、空き店舗活用につなぐ情報発信手法の検討や、コスプレ、SNSなどの若者文化を取り入れつつ、飲食店と連携したイベントに協働して取り組みました。

平成30年度は、地域の主体的な活動を後押しするために、内野地域・黒埼地域の活性化につながる事業提案を公募しましたが、十分な応募を得られませんでした。第7期は「区の魅力の発信」や「商店街等をはじめとした賑わい創出」について、事業提案を公募し、ノウハウを持った団体と協働して取り組んでいきます。以上で第3部会の報告を終わります。

(岩協会長)

ありがとうございました。続きまして、降雪時の支え合いの取組みを広げるための議論について、支え合いのしくみづくり推進員の加野委員、お願いします。

(加野委員)

2号委員、西区支え合いのしくみづくり推進員の加野と申します。私からは降雪時の支え合いの取り組みについての検討についてご説明させていただきたいと思います。

西区自治協議会では平成30年の豪雪を踏まえまして、行政と地域の役割分担の中で、地域、区民として例年並みの降雪時において、地域での取り組みの輪を広げるために、地域と市の協働の要として、地域で何ができるのかについて、平成30年10月から12月まで全3回の話し合いを行いました。10月では、降雪時の取り組み事例の情報交換を行いました。そこでは住民がおたすけ隊として、高齢者宅の除雪や歩道除雪の活動をしている町内会の事例をご報告いただくとともに、自治協委員から、自分の地域での取り組み事例や状況等の報告をいただき、支え合いの取り組みが進んでいる地域がある一方で、マンパワーが足りないなど、現状や課題があることがわかりました。11月は課題の洗い出しを行い、その出てきた課題としては、一部の人に除雪の負担が集中しており、担い手が不足していること、今助け合いができていない地域でも次の世代へこの助け合いが引き継いでいけるのが課題として多く挙げられました。

12月のグループワークでは、こうした課題がある中で、どうしたら降雪時の支え合いの輪が広げられるのか、次世代にどのように伝えていくのかをテーマに、自由にアイデア出しを行いました。結果、広報などを活用して、支え合いの大切さを伝える公募に関するアイデア。また休日に自治会内で一斉雪かき日を設けるなど、地域のコミュニケーションを深めるようなアイデア、また中学校や小学校の体育の授業で雪かきをしてもらうなど、若い人たちに雪かきに協力してもらえようような体制をどうつくれるかということに関するアイデア等々、さまざまなアイデアが出されました。

特に雪かきを楽しむ視点ですとか、どのように若者を巻き込んでいくかについては、さまざまな出身母体の方が集まる、自治協ならではのユニークな意見が出されたことと思います。今回自治協の本会の場を使って、こうした話し合いの取り組みができたことは、とてもいいことだなと思いますし、また今後出された意見をさらに深めて、少しでも何か実現できるように、今後も取り組んでまいりたいと思います。私からの報告は以上になります。

(岩協会長)

ありがとうございました。それでは、最後に私から来年度の西区自治協議会提案事業について、ご説明いたします。

来年度は2つの事業を予定しております。1つ目は、「地域課題解決に向けた事業募集」です。西区内の地域課題の解決を目的として、自治協と協働して効果的な事業推進を図ることで、より高い効果が見込まれる事業を募集いたします。募集する事業は、「管理不全な空き家にしないための取組み」、「地域の担い手育成」そして「支え合いのしくみづくりの輪を広げる取組み」、「区の魅力発信・賑わい創出」の4つです。

この4つの地域課題の解決につながる事業を、ノウハウを持った地域活動団体等から募集し、協働して実施することにより、事業の満足度向上と活動の効率化を図りたいと考え

ております。

2つ目は、7回目となる「西区アートフェスティバル」の開催です。西区で活動している音楽・芸能団体の発表や、西区にちなんだアート作品の展示を行います。区内外からたくさんの方の来場者から来ていただき、西区を大いに盛り上げるイベントとなっています。

来年度は新たに、大学や区と連携し、親子で楽しむ演奏会やワークショップなどの新規企画を盛り込む予定です。アートの表現を通して、学術・文化豊かな西区のパワーと魅力を発信したいと思います。来年度の提案事業は以上です。

それでは、これまでの各委員からの発表・発言を受けて、中原市長、お願いします。

(中原市長)

今ほど第1部会から第3部会まで、平成29年、平成30年度の第6紀の活動を皆さまからご紹介、ご報告をいただきまして、大変ありがとうございました。この2か年にわたって、皆さまが真剣に、また熱心に各分野にわたって地域の協働の要として活動していただいていたことに、まずは心から敬意を感謝を申し上げたいと思います。

そして特に昨年大雪、災害に匹敵するような大雪を受けて、皆さまから除雪について真剣なご議論をいただけたと思っています。そうした中で、除雪ということだけではなく、災害というものはいつ何時発生するかも分かりません。そういう中で、具体的な支え合いを皆さんから考えていただけたということで、これからの大雪、あるいは災害発生時に、こうした支え合いの具体的なしくみづくりがこれからこの西区においても必ず役立つと思いますので、今後ともまたよろしく願い申し上げます。

それから西区はもともと飛砂の問題ですとか、マツクイムシの問題など、これはなかなか対応ができないのですが、また皆さんからもご協力をいただきながら、新潟市としても402号線の道路も整備をしてきれいになってきましたので、しっかりと飛砂対策を西区特有の課題として、これからまたしっかりと新潟市としても取り組んでいきたいと思いました。以上、とりあえず感想として一言申し上げさせていただきます。

(岩協会長)

ありがとうございました。続きまして、コミ協の地域での活動などについてご紹介いただきます。では、はじめに坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会長の下川委員より発表をお願いします。

(下川委員)

それでは少し簡単にお話をさせていただきたいと思います。私たちのコミ協は、33の自治会が所属しております。それまで年に総会を開いて、大きな会合を2回やっているのですが、なかなかこれですとコミュニケーションが取りづらいので、この33自治会を4ブロックに分けてブロック会議というものを年3回実施しています。そうしますと、非常に自治会長さんから話が出やすく、いろいろな意見交換がしやすい。そういうことで好評を受

けています。事務局は大変なのですが、テーマを設けて、自治会の活動について、それから次には社会福祉協議会というものについて、それから本日お配りしている写真に載っていますが、民生委員とそれから自治会長との意見交換を行いまして、非常に地域とコミ協というものが近い関係になって、我々の活動を理解してもら。それから将来的には活動の中で自治協の役員とかいろいろなものにも出られるような形にしていきたいという狙いも含めて、一応活発にやっております。

1年目が終わりました、2年目、これからまたテーマを設けて活発にやっていきたいのですが、最後に少しやはり悩みなのですが、33の自治会があるので、自治会長さんがだいたい1年で交代するのはこの33のうち大体13自治会ぐらいです。これが一番悩みなのです。せっかくいろいろなことを知ってもらえて、慣れたころにはまた新しい会長さん。中には団地もありまして、そこでは会長さんができない。もう自治会を運営できないという所もありますので、そのようなことも含めて、大変な悩みを抱えながらやっているところです。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。続きまして、立佻校区ふれあい協議会副会長の渡辺美弥子委員からお願いいたします。

(渡辺委員)

立佻校区ふれあい協議会の渡辺です。よろしくお願ひします。私からは配付させていただいた「あそぼうさい 10」の実施計画書をご覧いただくと、やっていることが分かるかと思ひます。今年で10回目になります。「あそぼうさい」は地域と学校パートナーシップ事業の一つとして行っています。毎年ここにもありますが、多くの協力団体の方々の協働で行っています。やっていることは「あそぼうさいメニュー」にいろいろ書かれていますのですが、私たちの所で良い点が、コーディネーターさんが学校とふれあい協議会を結んでくださっていて、学校との連携がとてもスムーズにいつているということです。

それから防災部会が中心になって「あそぼうさい」を行っているのですが、防災部会の中には、各自治会から1名は必ず部会員として入ってくださっているのです、地域との声掛けとかがうまくできています。また毎年行っていますが、黒崎地区の公民館がとても協力してくださっているのです、大きな力になっています。10年目なので、スタッフも毎年どのようなことをするかが分かっているのです、ほとんど打合せもなく、準備がスムーズに行われています。

「あそぼうさい」の参加者は、当日参加も含めて、子どもたちが70名から80名ほど。スタッフも40名ほど参加しています。あそぼうさいのメニューを見ていただいて、ボールプールでクイズというものがあるのですが、これは子どもたちにとっても人気で、大きなビニールプールの中にゴムボールというか柔らかいボールをいっぱい入れて、その中にクイズの答えが埋まっているのですが、それを子どもたちが一生懸命探して選ぶという、プー

ルの中で探すというのが、子どもたちにはとても楽しいようです。

それから今年は西消防署の方がいらして、なりきり消防士とかそういうものをしていただくのですが、今年は特に、今回自治協委員の高橋さんが所属しているひまわり隊の方からおいでいただいて、いろいろ防災についてのお話をさせていただくことになっています。子どもたちには最後にプレゼントがあるのですが、100円ショップで買ってくるのですが、防災グッズを毎年いろいろ工夫して買っているのですが、中には子どもたちは毎年参加して、防災グッズを集めて、自分で防災袋というのを作って、こういうのを作ったんだよと見せてくれたりして、少しは子どもたちの中に浸透しているのだなと思っています。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございます。今、地域コミ協の人材難ということで下川副会長が言われました。ということで、これからの新潟市の大きな課題になると思いますが、これからもコミ協の活性化といいますか、あり方について、市長一言気づいた点をお願いできますか。

(中原市長)

下川さんがお話になった自治会長さんたちのお務めになっていただける期間ですが、これはやはり非常に深刻な問題だと思います。それぞれ皆さん方に事情があって、1年とか、所によっては1年ない所もあります。長くなっていただいた方がやはり安心感があると思いますし、1年間は短すぎるので、そこをどうしたらいいかという、やはり皆さん個々のその立場に対する理解ということでしょうから、4ブロックに分けてそれぞれ会をやっていただいているということなのですが、そういうことを継続手にやっていただくことが自治会長の皆さん方、また地域に対する強い思いにつながって、もう少し長く務めていただくことに繋がればいいなと思いました。

(岩協会長)

ありがとうございます。これは非常に難しい問題で、すぐ結論が出ないということで、皆さん方、ご理解していただきたいと思います。ありがとうございます。それではせっかくの機会でございます。皆さん方、中原市長に何かお聞きしたいこと、提案、ご意見等がございましたら、時間がないのでお一人でお願いできますでしょうか。

坂井委員、お願いします。

(坂井委員)

お答えいただけるかどうか。今伺いまして、全体によく分かったのですが、篠田市長とどのように変わって、どこが中心で、どこを変えるのかという辺りがもし答えていただけたらいいなと思うのが一つと、せっかくなので、私は政令指定都市の中で自治協という組織は日本一の組織だと思っています。中原市長が自治協についてどのようなお考えを

持っているのかというのを伺いできたらと思います。以上です。

(中原市長)

ありがとうございます。昨年の11月18日から新潟市長に就任をさせていただきまして、ちょうど約4か月となります。この間、昨年の12月議会、それから今年の2月予算議会が終わりまして、議会の方も2回経験をさせていただきました。自治協もこういう形で来年度の取り組みと、この自治協の会議に皆さんから直接私の話を聞いていただく顔合わせ的な自治協の会議にも参加をさせていただきました。あと東区だけが残っているような状況であります。私としては、これからこの新潟市を先ほど言いました「全国とつながる、世界とつながる、拠点都市・新潟」という、これはスローガンですけれども、やはりこれから活力ある新潟にしていって、日本海側の中心都市に向上させていきたいと思っています。

新潟市は水田面積が日本一でありまして、やはり合併をして、農業地帯がたくさんありますが、私はこの新潟市が都市部とそれから田園部の魅力を十分感じていただいて、また田園部の皆さんも都市部があることによって消費地ができるということも一つありますし、生活としても田園部だけの生活だけではなくて都市部の生活も享受することができる。そうした共存、共栄するまちをつくっていききたいと思っています。これまで政令市になってから10年以上経過するのですが、やはり1区から8区、これが一体感のある、策定はしたけれどもそれぞれバラバラなのだというのではなくて、もう少し求心力を持った一体感のある新潟市にしていききたいと思っています。そういう中で交流人口の拡大、拠点性の向上、それから活力ある新潟を目指して、これから取り組んでいけたらと思っています。

(岩協会長)

ありがとうございました。それでは私から、意見でございますが述べさせていただきますと思います。商店街について、壊滅状態に近いところが多いと聞いておりますので、来年度、再来年度も念頭に置いて予算編成をしていただけるとありがたい。

もう一つは、地域防災については、非常に改善されてきました。これは第1部会でいろいろな地域の方々に防災の講演会をされて改善されてきているということでございます。最後に砂丘の問題。これは永遠ではないと私は思っています。なぜならば、国、県、市と連携していただけるということで、いろいろな形で結果が表れていると聞いておりますので、これからの地域住民の方のご要望にお応えできればありがたいなと思っております。以上でございます。ありがとうございました。

ということで、これで市長と自治協委員の懇談会を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

(中原市長)

どうも皆さん、ありがとうございました。

〈3 議事（1）部会等の状況報告（通常部会・特別部会・推薦会議）〉

（岩協会長）

それでは、それでは議事に入ります。（1）部会等の状況報告です。

概要を各部長より簡潔に報告していただきたいと思います。

また、今回は各部会で実施した自治協提案事業の事業評価についても併せてご報告をお願いいたします。では、第1部会からお願いします。

（大谷委員）

第1部会の会議概要をご報告いたします。所管分野は防犯、防災、自然環境、住環境等です。3月8日、金曜日、午後3時から第12回の会議を行いました。出席者は会議概要記載のとおりです。部会最後の議事は、第6期の成果と課題についてを協議いたしました。2月の部会で第1部会の活動の振り返りを行いました。その際に出された意見を反映した事務局案について協議し、原案のとおり、3月本会に提出することといたしました。引き続き出席委員一人一人から感想や反省点などをお示しいただき、今期の振り返りを行いました。その中で主な発言内容は点線の囲み部分に記載してありますので、ご一読いただきたいと思います。

その他として事務局から、広報紙、クロスワードパズルの応募者から寄せられた自治協議会への意見について説明がございました。部会の報告は以上です。なお、資料3に事業評価書が1ページと2ページにわたって載っておりますので、ご覧いただきたいと思っております。以上です。

（岩協会長）

ありがとうございました。ただいまの報告について、何かご質問、ご意見等がございましたでしょうか。なければ第2部会の郷部会長、お願いいたします。

（郷委員）

第2部会です。所管分野は保健福祉、文化、教育等です。第12回の部会は3月11日、午前10時から11時まで行いました。会場、出席者等は書かれておりです。主な議事、第6期の成果と課題について。前回の部会で委員の意見をもとに作成した事務局案について審議し、原案のとおり、3月本会に提出することとしました。また最後の部会でしたので、参加した委員の皆さまから意見をお話ししていただきました。出された意見は囲みの中のとおりです。たくさんのアイデア等が部会の中の話し合いの中で出てきました。それが行政の仕組みとして一つでも実現していけるように、私たちも努力、協力していきまじ、行政の方からも取り組みに生かしていただきたいということで、要約させていただきます。

そのほか、事務局から自治協議会広報紙のクロスワードパズル応募者からの活動への意見についての説明をいただきました。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。ただいまの報告について、何かご質問、ご意見等がございましたでしょうか。なければ第3部会の塩川部会長、お願いいたします。

(塩川委員)

第3部会の会議概要を申し上げます。所管分野は農林水産業、商工業、交通等でございます。開催日時、会場、出席者は記載のとおりです。主な議事といたしまして、第6期の成果と課題について、別紙のとおりまとめたほか、「西区を豊かに 第28号」掲載のクロスワードパズルの応募者から寄せられた自治協議会活動への意見について確認いたしました。部会の会議の内容は以上です。

また第3部会として実施した西区の特産物・観光地カレンダー事業の事業評価については、別紙評価書のとおりです。第3部会は以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。ただいまの報告について、何かご質問、ご意見等がございましたでしょうか。ありがとうございました。

それでは続きましてプロジェクトチームの報告に移りたいと思います。

(鍋谷委員)

PT1です。部会の開催日時、会場、出席者は記載のとおりです。主な議事についてお話しいたします。1点目、29号の作成状況とありますが、本日お届けした「西区を豊かに 29号」でございます。ご覧いただきたいと思います。

2点目30号の企画について話し合いました。これは新年度、新しくまた部会構成がされてから検討されることなのですが、一応案としてこんなものが考えられるというものを囲み記事で載せておきました。これはあくまでも現時点での案でございます。

来年度の発行時期でございますが、今までは最初の号が、年度変わりの最初の号が7月でございましたけれども、形も変わる、部会委員も変わるということで、また今度は西区だよりと同時に配布ということになりますと、第1、第3日曜ということになります。そんなことをいろいろ考えまして、最初は9月の第1日曜に、これもあくまでも予定でございますが、そのように心づもりをしていただければと思います。

あと枠組みの下に書いてありますが、区だよりと一緒に配布するのは、12月、3月、この3回を広報部会でやりまして、あとの1回は区だよりの編集の方々が区だよりに掲載し、合計4回という形になります。

3番です。クロスワードパズルのアンケートでございますが、今年は409件のアンケートをいただきました。昨年度が239件でしたから、大変多くの方から関心を持っていただいたと喜んでおりますが、これを事務方の方で各部会ごとにその意見が分かるようにプリントしていただきました。ありがとうございました。それをもとに私どもも個々の反省を部

会委員でいたしました。時間がありませんので、その四角囲みの記事を読んでいただきたいと思います。

29号でのこの形での発行は、前からお話ししていますように、今回は最後でございます。次号からはいろいろな区の広報が出ていますが、その中で南区が出しておられるタブロイド判の形になります。私ども一生懸命やってきた人間としては、ちょっと古いものに愛着もあるのですけれども、また新しい形で、新しい感覚で、素晴らしい広報紙ができていくのではないかなと期待をしております。以上でございます。

(岩脇会長)

ありがとうございました。大変な作業でございます。ただいまの報告について、何かご質問、ご意見等がございますでしょうか。なければプロジェクトチーム2です。今日は永吉部会長が欠席でございます。渡邊副部会長、報告をお願いいたします。

(渡邊委員)

プロジェクトチーム2でございます。所管は、西区アートフェスティバルの企画実施でございます。開催日時、会場、出席者は記載のとおりで、主な議事は、来年度の西区アートフェスティバルについてです。まず、出演団体候補について、検討を行いました。検討結果に基づきまして、順次候補者のスケジュールを確認することとしました。

2つ目、企画案につきましては、企画書案をまとめまして、3月本会へ提出することといたしました。小学生の自由研究優秀作品展示でございますが、来年度は西新潟市民会館で開催いたしますので、展示スペースが確保できることから、作品数を1校につき1作品から3作品以内ということで、作品数を増やして依頼することとしました。

その他につきましては、記載のとおりです。

1枚めくっていただきまして、企画書案になります。現在のところ仮称ですが、「西区アートフェスティバル × 音届(おとどけ)」ということにさせていただいております。目的、日時、会場は記載のとおりです。

事業内容についてでございますが、音楽部門については、午前の部は「親子で楽しむ演奏会」を新潟大学が主体で実施します。午後の部につきましては、「音楽・芸能団体の発表」ということで、特別ゲストを含めまして、6団体を予定しております。アート部門につきましては、小学生の自由研究作品とアール・ブリュット作品展示、そして大学と連携したワークショップを予定しております。そのほかにつきましては、記載のとおりです。

続きまして、事業評価になりますが、資料3の6ページでございます。テーマ、事業名、事業目的、概要は記載のとおりでございます。事業の実施実績でございますが、来場者数は過去最高の1,000人ということになりました。事業評価ですが、障がい者が制作したアール・ブリュット作品の展示について、作品を出品された方とご家族から多数来場いただきまして、ご自身の作品展示を喜んでいただくとともに、来場者の増加に繋げることができました。

改善点は、引き続き、新規の企画内容を盛り込むなど、マンネリ化を防ぐ工夫が必要だと考えております。あとは記載のとおりでございます。以上、報告でございます。

(岩協会長)

ありがとうございました。それではただいまの、プロジェクトチーム2から「(仮称)西区アートフェスティバル × 音届(おとどけ)」の企画書案が提出されました。このとおり進めていただいでよろしいでしょうか。

<異議なしの声あり>

ありがとうございました。それでは部会長を中心にご準備をお願いいたします。

〈3 議事(2)平成30年度区自治協議会提案事業の事業評価について〉

(岩協会長)

それでは、一旦ここで区切りまして、議事の関係から議事(2)に入ります。資料3をご覧ください。議事の2番目、平成30年度区自治協議会提案事業の事業評価についてですが、いまほど各部会からご報告いただいたとおり、今年度の事業について振り返っていただいたものです。特にご意見がなければ原案のとおり、市民協働課へ提出いたしますが、いかがでしょうか。

<異議なしの声あり>

ありがとうございました。「異議なし」ということでございます。事務局で手続きをお願いいたします。

〈3 議事(3)次期西区自治協議会委員の推薦について〉

(岩協会長)

議事の3番目、次期西区自治協議会委員の推薦についてです。委員推薦会議の報告をお願いします。浅妻座長、お願いします。

(浅妻委員)

当日配布資料1と2をご覧くださいと思います。3月7日に第5回の推薦会議を開きました。このときは資料に基づいて事務局より次期委員の承諾状況および各団体からの推薦状況について説明があり、推薦承諾のあった30名については、この協議会に推薦するという事に決定し、まだ未定となっている6名については、推薦承諾をいただき次第推薦会議のメンバーが書面で開催して委員の推薦案を決定するというにしております。

そして2番、第7期委員推薦案の決定については、書面開催し、未定となっていた6名の委員推薦者について確認をして、前回確認した30名と合わせて36名を、別紙資料の2、原案のとおり、西区自治協議会に推薦することといたしました。資料の2をご覧ください。委員の全体構成は、1号委員が15名、2号委員が11名、3号委員は10名、3号委員10名の中には公募委員が3名が含まれております。

そして参考までに、女性比率が盛んに言われているところですが、36名中17名の47.1%ということで、目標といたしますか、目安としていました45%を上回ることができました。以上で会議概要を報告し、案を提出したいと思います。よろしくお願ひします。

(岩協会長)

ありがとうございました。ここに添付された第7期の西区自治協議会委員名簿は最終案でございますね。

(浅妻委員)

はい。

(岩協会長)

ありがとうございました。ただいまの座長の報告でございます。皆さま、何かご質問等がありますでしょうか。なければ、これまで議論を重ねた推薦会議の選考結果を尊重し、原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

<異議なしの声あり>

よろしいでしょうか。

<はいの声あり>

ありがとうございました。では、手続きは事務局でお願いしたいと思います。

〈3 議事(4) 第6期西区自治協議会の成果と課題について〉

(岩協会長)

続きまして、議事の4番目、第6期 西区自治協議会成果と課題についてでございます。資料4をご覧ください。提案事業など、各部会でご審議いただきました。既に皆さんご確認のものと思います。皆さんから特にご意見がなければ、原案のとおりとしますがよろしいか、お伺ひいたします。よろしいでしょうか。

<異議なしの声あり>

ありがとうございました。

〈4 報告(1) 新潟市防災会議について〉

(岩協会長)

4番、報告事項です。(1) 新潟市防災会議について、当協議会から委員として出席している、大谷委員から説明をお願いいたします。

(大谷委員)

番号の振っていない資料をご覧いただきたいと思います。3月19日に市役所におきまして、新潟市の防災会議が開かれました。その報告書でございます。当日は中原市長さんか

らごあいさつをいただいて、引き続き市長さんが議長になって議事を進めたということでございます。議題は平成30年度の新潟市地域防災計画の修正案ということでございまして、おおむね1年間の実績に基づいて修正したということでございますので、特別この修正案によって新しくなるというのは、新しい年度に向けての修正ということで理解していただきたいと思っております。

危機管理防災局の防災課から、約160項目にわたって修正を加えた旨の説明がございました。その中で主な修正内容は以下のとおりですが、一つとして、新たな浸水想定に基づく全避難所の再評価ということでございます。一つは洪水についての浸水想定。約70年から150年に一度の大雨の時の浸水想定から、約1,000年に一度の大雨の浸水想定に修正したということ。それから津波については「県独自の断層モデルでの想定」から「国が指定した断層モデルを加えた想定」に修正し、かつ、基準水位（せり上がりの新水深）を公表したということでございます。これらもいつかのときに、私から報告したとおりでございます。

評価の見直しとしては、松浜小学校の例として、修正前については浸水なしということでしたが、今回の見直しによって1階部分が浸水するというところに、図面上図示されて変更されてございます。②として、ブロック塀等の倒壊防止の対策については、市の施設および通学路等のブロック塀の緊急点検ということで、市立の学校37施設のうち、撤去・改修が36施設。それから学校を除く市の施設として90施設のうち、撤去・改修が27という報告でございました。なお、民間施設の安全対策については、それぞれ工事費用の一部補助という形で対応していく旨の報告でございます。

めくっていただきまして、③として災害時の保健医療業務の受援体制の整備ということで、そこに書いてあるとおり、新たに災害時に健康危機管理支援チームの応援派遣についても、通常の応急計画あるいは衛星計画の中に追記をするということ。それから④として、災害援護資金貸付の利率等の改正が法改正に基づいて改正されたということでございます。改正前は年利3%ですが、改正後は保証人を立てる場合には無利子、保証人を立てない場合は1%という説明でした。

あとは報告事項として、新潟市からの防災対策の取り組みと関係機関の防災対策の取り組みについてそれぞれ説明がございまして、新潟市の防災対策の取り組みについては、被災地支援にあつては、西日本豪雨の場合は延べ50日間、延べ人数1,355人。北海道の胆振東部地震にあつては、延べ6日間にわたって延べ人数22人。それから建物被害認定調査は延べ38人の被災地派遣を行った旨の報告でございます。

それから、除雪体制については、これも既に皆さん方ご承知のとおりでございますので、省略させていただきたいと思っておりますが、除雪車管理運行システムの導入ということで、既に建設課長からも何度かお聞きしている内容でございます。それから新たな雪捨て場の確保ということで、河川敷、調整池、駐車場などの雪捨て場の確保といったような、地域の公園や遊休地の小規模雪置き場の積極的な確保を図ったという報告でございました。

総合ハザードマップの作製については、既に全戸配布済みでございますので、ご覧のと

おりでございます。それから④として防災機能を有する公園の整備といたしまして、東区の寺山地内に広域避難所、災害時になったときに利用できる広域避難所としての公園を設置したということと、国土強靱化地域計画の進捗状況として、ご覧のような中央環状道路が1キロメートルの共有を開始したということと、橋の落橋防止対策目標100%を達成したということ。それから上下水道施設の耐震管の入れ替えを、水道管で20キロメートル、下水管で0.4キロメートルを行ったという報告でございました。

あとその他の関係機関の防災対策としては、新潟地方気象台からの説明がございました。これは私ども1部会の事業と関連したことなのですが、やはり防災気象情報の発表、それから自治体からの避難呼びかけが、必ず住民の避難行動につながっていないということに基づいての今後の対応策について、いろいろ報告がございました。記載のとおりでございます。

それから国土交通省からは、地方整備局の信濃川下流河川事務所、それから阿賀野川河川事務所からそれぞれ報告がございまして、私もなるほどと思ったのですが、川の水位を下げるための河道の掘削といいますか、そういうことをやっているということで、いろいろな役所の関係で防災対策を講じているのだということがよく分かりました。

最後に東北電力から胆振東部地震の大停電のことについて、記載のような内容で説明がございました。いずれにいたしましても、地震発生と同時に全戸にわたり停電したという説明でございまして、1陣から4陣までの105人が派遣に当たったということでございます。

その他として、自治協委員の任期満了に伴って、こちらの防災会議の委員も改選になるとの説明がありました。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。ただいまの大谷委員の説明でございます。何か分からないことがありましたら、お願いいたします。

それでは、ないようですので、次に移りたいと思います。

〈4 報告(2)平成31年度西区の予算について〉

(岩協会長)

続いて報告事項(2)平成31年度西区の予算について、担当課より説明をお願いいたします。

(真田副区長)

副区長の真田でございます。今日はお疲れさまでございます。もうしばらく続きますが、議事の進行が速やかに進んでいるので、私に与えられた時間は少し短かったですけれども、ゆっくり目にしゃべれるのでほっとしております。それでは資料5をお願いいたします。

1 ページ目の下段をご覧ください。西区の予算総額です。

市役所から区に、直接配分される予算総額は、約 3 7 億 1 6 0 万円で、前年度に比べて、約 1 億 2 百万円の減額となっております。

この主な理由は、「西出張所分庁舎解体事業」が終了したことによる減などがございます。

次のページをご覧ください。事業の説明に先立ち、西区の区ビジョンまちづくり計画に掲げる「目指す区のすがた」について、ご説明します。

西区では、H27 年度から H34 年度までの 8 年間で、ご覧の 5 つの「目指す区のすがた」の実現を目指し、魅力的な西区のまちづくりに取り組んでまいります。

「特色ある区づくり事業」についてです。この事業は、

- 区独自の課題解決に向けた取り組み
- 区の魅力や特性を活かした取り組み
- 区民との協働による取り組み

などについて、区自治協議会のご意見をお伺いし、区において内容を決めることのできる事業です。西区はご覧のとおり、1 4 事業で総額 3, 2 0 0 万円となっております。

本日は、新規・拡充事業を中心に、主な事業をご説明いたします。

それでは、次のページをご覧ください。

区ビジョン「人と人がつながり、安心・安全に暮らせるまち」での取組として、乳幼児から高齢者まで 健やかにいきいきとした暮らしづくりを進めます。

はじめに「西区健活チャレンジ事業」です。

健康寿命の延伸に向けて、ウォーキング講習会や生活習慣病予防など、区民の健康づくりを支援します。

また、健診未受診者へのアンケートの結果から、健康に対する無関心者への意識付けが必要なため、新たに地域での健康づくりの発信・啓発を行う、健康リーダーの育成に取り組みます。

さらに、ご覧の事業のほか、血圧・血糖・脂質の全てが有所見であるハイリスク者への健康相談や健診未受診者への受診の働きかけを引き続き進めていきます。

次に、「支え合いのまちづくり支援事業」です。

高齢者や障がいをお持ちの方が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるように、支え合いの仕組み作りを進めます。

まず、「支え合いのしくみづくり」について区民の皆様に理解してもらうための研修会を開催するとともに、啓発パンフレットを作成します。

加えて、地域のお茶の間の運営者の交流会を開催するほか、「地域の茶の間バスツアー」も継続して実施します。

次に、「高齢者孤立防止訪問」として、高齢者のみ世帯から一人暮らしになった方などを対象に、保健師などが訪問し、孤立防止のための支援を継続してまいります。

また、認知症サポート推進事業として、「小・中学生向けの認知症サポーター養成講座」を継続して開催するほか、高齢者虐待などにより、日常生活に支障のある方への支援とし

て、弁護士と相談契約を結び、高齢者の権利擁護に当たる体制の強化を継続して図っていきます。

加えて、障がい者の自立や就労に向けた支援を行い、農作業への継続的な従事を進めていきます。

次のページをご覧ください。次に、「西区子育て応援事業」です。

子育ての仲間づくりと育児の不安や孤独感を軽減するため、子どもの各世代に対応した子育て支援講座を開催する「子育てサポートプログラム」や、SNSにより、月齢に応じた育児情報や行政情報を配信する「子育て情報配信」を実施します。

次に、「西区安心安全な地域づくり推進事業」です。

地域の自主的な取り組みを推進し、地域防災力を強化するための支援などを行います。

具体的には、地域の避難マップ作成を通して避難所や避難経路、日ごろからの備えなどを確認してもらうほか、小・中学校への防災教育の支援などを進めます。

なお、防災課で全戸配布した総合ハザードマップにつきましては、各自治会等からの要望に応じて説明に回る予定です。

また、中学1年生を対象とした自転車安全運転講習会や、高齢者を対象としたドライブレコーダーを活用した安全運転指導を実施するほか、防犯啓発のため、「安心安全ネットワーク通信」を自治会・町内会に回覧し、犯罪の発生状況などをお知らせします。

次のページをご覧ください。

区ビジョン「都市と農村が融合するまち」での取組として、西区の魅力あふれる食と農を活用し、産業と地域の活性化を推進します。

はじめに、「西区特産農産物 魅力発信・ブランディング事業」です。

西区の特産農産物を県内外に発信し、知名度向上とブランド化、消費拡大を推進します。

また、GI 登録された「くろさき茶豆」を活用して商店街及び地域の活性化を目指すほか、農商工連携により、食と花の銘産品の新潟砂丘さつまいも「いもジェンヌ」の高付加価値化に取り組みます。

具体的な取り組みとして、特産農産物の魅力発信につきましては、首都圏を中心とした販売促進活動を行います。

「くろさき茶豆」につきましては、収穫時期に合わせて「くろさき茶豆夏の陣」を大野町商店街などを会場に開催し、一層の知名度の向上と、商店街の活性化を目指します。

また、「いもジェンヌ」につきましては、需要の増加に対応するための生産拡大や新たな加工商品の開発等に係る支援を「いもジェンヌ農商工連携協議会」を通じて展開します。

次に、「西区農地再生サポート事業」です。

農業特区による特例農業法人の参入や若手農業者の取り組みなどで、一定の再生が進んでいる西区の耕作放棄地について、さらなる再生を進めるため、西区の振興作物の作付拡大や、農地の飛砂対策と合わせた農地の再生を進めていきます。

実施にあたっては、農業関係団体で組織する西区農業振興協議会にご協力いただくこととしております。

次のページをご覧ください。

「食と農」体験プログラム実施事業」です。

区内の小学校と連携し、児童が地場農産物や農業を学び体験する機会を提供することで、子どもたちへの食育と地場農産物の消費拡大を推進します。また、農を学ぶ場として農業体験教室「食と農の学校」を開催し、都市部住民への理解を深めます。

具体的な取り組みとしては、区内の小学校から「収穫体験」「料理講座」「生産者講話」の中から希望する1講座を選択してもらい、授業の中で実施します。

また、学校給食での地場農産物の使用量拡大の取り組みを進めます。

次に、「西区スポーツ健康プロジェクト」です。

区民の皆様に、体を動かすことの楽しさを知ってもらいながら、運動・スポーツを継続して取り組むことができるよう、健康づくりをサポートします。

また、東京オリンピック・パラリンピックを見据え、障がい者スポーツの普及啓発を図るため体験教室を開催します。

そのほか、ご覧の教室を開催し、区民同士の交流を推進するとともに、健康寿命の延伸に向けたきっかけづくりに取り組みます。

次のページをご覧ください。

区ビジョン「豊かな自然と快適な住環境を大切にすまち」での取組として、

河川や海岸など美しい景観を未来に引き継ぎ、また情報発信により交流人口を増やし活力あるまちを目指します。

また、うるおいのある快適な住環境づくりを進めてまいります。

はじめに、「未来につながるきれいなまちづくり事業」です。

ごみのない、きれいなまちづくりを推進するため、コミ協や関係団体と連携して、西区全域の環境美化活動に取り組みます。

また、子どもたちが環境について学び、考え、行動する機会を充実させ、環境保全への関心と意識を育みます。

次に、「げんきな保安林づくり」です。

海岸保安林を保全し、環境整備を進めて、近隣住民の生活を守るとともに、市民の憩いの場として活用するため、ボランティア団体の育成・強化を図ります。

具体的な取り組みとしては、保安林整備講座やボランティア団体の情報交換会の開催、また活動内容の区民への周知をおこないます。これらにより、活動参加者の交流を深め、団体の育成強化を図るとともに、保安林保全活動への取り組みに対する支援を進めます。

次のページをご覧ください。

「西区を堪能 まち歩き・観光ツアー」です。

区内に点在する魅力ある自然景観や史跡などを活用して集客できる観光コースを企画造成し、まち歩きや観光ツアーの実施により、地域の魅力の再発見と交流人口の拡大を図ります。既存のコースに、旬の特産農産物の収穫体験など「食」と「農」を組み合わせた体験メニュー付きのツアーを実施し、観光客のさらなる誘客と区のPRを推進します。

また、ボランティアガイドのガイドスキルの向上と養成のため、観光ボランティアガイド養成講座を開催します。

続いて、区ビジョン「地域と区役所が共に歩むまち」での取組では、区民と区役所が協働で地域課題に取り組む体制を進めるとともに、区役所は身近で信頼されるサービスを提供していきます。

はじめに、「西区への愛着を育む～魅力お届け事業」です。

人口減少を踏まえ、学生の定住を促進するため、学生に向けて区の魅力を実感する機会として区内定住者・就業者との交流会の開催等に取り組むなど、学生の地域への愛着を育みます。

また、西区かがやき大使である越乃リュウさんにご協力いただき、区の魅力を県内外に発信します。

次のページをご覧ください。

「出動！西区地域盛り上げ隊（中学生みらいデザイン編）」です。

次世代を担う子どもたちが、地域をよりよく知り、関心を高めることを目的に、地域の課題解決の方法を考えるワークショップを開催します。

31年度は、引き続き、西区内の中学校2校で実施します。

また、ワークショップ終了後、検討されたアイデアのうち実現可能なアイデアについて、地域と学校が協働で実施できるよう支援します。

次に、区づくり事業の最後、「区自治協議会提案事業」です。

地域課題の解決や地域活性化を図るため、西区自治協議会が自ら事業を企画し、実施していただくものです。

皆様からご議論いただき、ご提案をいただいた、記載の2事業について、区役所も一体となって取り組むものです。

以上で、「平成31年度 西区の主な事業」の説明を終わらせていただきます。

どうか忌憚のないご意見をお願いいたします。

ありがとうございました。

（岩協会長）

ありがとうございました。ただいまの西区の予算について、担当課から説明いたしました。何か分からないことや、質問、意見等がございましたらお願いいたします。大谷委員、お願いいたします。

（大谷委員）

10ページの「都市と農村が融合するまち」の項目の継続事業50万円が一番下なのですが、農地飛砂対策とございますが、私ども1部会で1年目に佐潟の砂丘地を見学したときに、問題解決にはとても及ばないと感じたのですが、ここで言う農地飛砂対策というのは、考えは何なのか少し教えていただきたいのですが。

それと、私どもが考える農地飛砂対策を、もし採用していただけるのだとすれば、継続事業として50万ですと、ゼロが1つ足りないぐらいの気もするのですが、50万の中の農地飛砂対策が何なのか、少し教えていただきたいと思います。

(岩協会長)

それでは担当課。よろしいですね。ではお願いいたします。

(鈴木農政商工課長)

ありがとうございます。農政商工課長の鈴木です。ゼロがもしかして1つどころかかなり、本格的にやれば足りないと思うのですが、この50万円でやろうとしていることは、もともと耕作放棄地だった所を農地に再生するというのがメインの目的です。その中で要は冬場に何も植わっていないというのが砂を飛ばすということもありますので、冬場にも例えば緑肥といいまして、また養分になっていくようなものを植えることを推進していますので、そのようなことをやった場合、10アール当たり5万円という補助金を用意しているものでございます。その他に西区の振興作物。分かりやすいもので言えばさつまいもとか、すいかももちろんそうですが、かなりのものが対象になるのですけれども、そのようなものを植えてくださる場合には、耕作放棄地を改善する場合には5万円。要は春から秋にかけて作物を植えた場合、または冬場では緑肥を植えていただくと。両方していただくと10アール当たり計10万円と。5万円ずつでございますので、そのような対策ですので、根本的な解決にはならないと思うのですが、そのような形で少しずつ、冬場も物を植えていただくということも浸透させていきたいということでございます。

(岩協会長)

大谷委員、了解しましたか。

(大谷委員)

あまり、まあ。

(岩協会長)

これに関連します。これは県とか国の支援があるということですか。単独ですか。

(鈴木農政商工課長)

これは国でもありますけれども、こちらの事業は区づくりでは単独になります。

(岩協会長)

ありがとうございました。ほかに何か。高島委員。

(高島委員)

1号委員の高島です。今回をもって私は卒業させてもらうわけですが、大谷委員から農地からの飛砂ということで、私どものコミュニティ佐潟の中のいわゆる大きな問題であります。今、応援いただいて、大変、大谷委員には感謝しています。なかなか大変な問題でして、一朝一夕にはいけないと思うのですが、ぜひ1つ目をもっと向けていただいて、お金ももっと出していただいて、目に見えるような形で、ぜひ一つ一歩でも二歩でも前進していただけるとありがたいと思います。

それともう一つ私から、これで終わりますので一つお願いしたいと思っておりますが、未来につながるきれいなまちづくり事業とスピーチの中で語られておりますが、私はかねてから感じていたのですが、いわゆる街路樹の美化事業にぜひ力を入れていただきたいと思っていたのです。特に道沿いの街路樹が非常に貧弱というのでしょうか。ほかの都市から比べたら新潟市、政令指定都市としてふさわしくないのではないかと、いつも思っ見ております。若い人が新潟のまちを見たときに、とにかく緑が少ないです。まちの中の緑が少ない。植えてある木もやっとな、元気のない木が何本もありまして、その高木の周りも花々も非常に少ない。貧弱なふうに見えます。ぜひこういう所も目を向けていただいて、中央区の柳都大橋から下りていく古町方面に、あそこの一部が最近ですがきれいに街路樹が整備されていますが、あれを全市的にやはり広げることが若者がまちに定着する一つの理由になるかと思っておりますので、ぜひそういう所も目を向けていただければありがたいなという所です。以上です。お願いします。

(岩協会長)

区長、お願いいたします。

(笠原区長)

今ほど飛砂のお話をいただきまして、大変どうもありがとうございました。飛砂につきましては、先ほど市長からもお話がございましたとおり、西区のスペシャルな課題であるとかねがね感じてきております。自治協からも視察をいただいて、問題は確認いただいていると認識しておりますけれども、まず一つは402号線沿いでございます。それにつきましては、ご承知のとおり、人工砂丘というものを設置いたしまして、30年度でそれをつなぐ工事もさせていただきました。それで一体化した人工砂丘が完成いたしましたので、ほぼ真砂地区の飛砂は止まるものと期待をしているところでございます。今後はそのようなものの期待を検証していきながら、さらにまた抜本的な対策も継続してやっていきたいと思っております。

また一方赤塚のほうでございます。ご承知のとおり、広大な砂丘畑が風で飛んで飛砂が出ているということが原因でございます。これにつきましては生産者のほうでサカキを植えていただいたり、対策をしておりますが、何分にもご承知のとおりあの広大な砂丘畑でございます。これにつきましても、まだまだ私ども対策が完全なものできていないことは、ここでお詫びしなければいけないところでございますが、これにつきましても402号

線同様に、いろいろ大学の知見とかもお聞きしながら考えていかなければいけない課題があると、十分承知しておりますので、ご理解またご相談できればと思っています。

今回の50万円というのは、西区の市内の8区の中で、一番耕作放棄地が多い区が西区でございます。当然耕作放棄地が増えれば、環境の衛生にも害を及ぼしますし、農業の基盤的な弱体化にもつながってまいります。そうした課題に対応して、耕作放棄地の飛砂対策も、これは8区で1区だけだと思っていますが、そうしたものも含ませていただいて、環境の改善と、そして農業の基盤強化につなげていきたいと考えて、そうした取り組みをさせていただいたものでございます。どうか今後もご理解をいただきまして、ご協力をお願いいたします。大変どうもありがとうございました。

(岩脇会長)

ありがとうございました。お少しお伺いいたしますが、西蒲区と政策面というのですか、土木面というのですか、西蒲区も一緒に、共同してやっていると聞きましたが。

(鈴木農政商工課長)

西蒲が持っているかどうかは分かりませんが、もしかしたら西蒲区の方も入っているか、ちょっとそこまでは分かりません。

(古俣建設課長)

建設課長の古俣です。先ほどの高島委員のご提案と申しますか、街路樹の話でございますが、区での街路樹については維持管理ということでやらせていただいております。あと少し個人的な考えもありますけれども、中央区の新潟市の顔となる通りにはかなり立派な街路樹が整備されている所もございます。ああいったものは今後も当然、あるいはもっとやっていく必要があるかと思えます。ただ一方で予算が厳しい中で、街路樹の管理については、非常に今回の議会でも出ておりましたが、かなり課題の多い所でございます。

お答えになるかどうかはあれですが、やはり沿線の方とかあるいは地域の協力あって、街路樹の管理あるいは沿線の、街路樹だけでなく、例えば坂井輪コミ協さんがやっておられるようなプランターを置いたり、ああいったことをやはり今後予算が厳しい中で、地域と共同でやっていければ一番いい姿かなと思っています。

高島委員がお住いの赤塚のほうでも地域の方と、また取り組むという方向でお話もさせていただいておりますけれども、皆さまの地域でもそうしたことがございましたら、建設課のほうにご相談いただいて、確かに厳しい予算ではございますけれども、例えば共同で何かできることがあれば、また考えていければとそんな方向で思っております。回答になるかどうかはあれですが、そうしたことでまたやっていければと考えています。ありがとうございます。

(岩協会長)

浅妻委員。よろしいですか。

(朝妻委員)

簡潔に質問したいと思うのですが、私の思い違いだったら失礼しますが、シーズンになりますと区役所の日曜朝市というのをやっておられますよね。これはやはり西区の特産農産物の魅力発信とか、そういう事業につながるかと思imasので、今見たところ、どこにも文字として入っていないのですが、その辺のお考えはいかがでしょうか。私はぜひあれを継続して、進行されたほうが良いと思っています。

(鈴木農政商工課長)

農政商工課、鈴木です。予算立ての区分の違いで掲載しておりませんが、西区としては新鮮朝市というのをもう10年近くやっていますし、来年度もまた続けていきますので、また今後この事業の表示につきましては、区役所内部でも検討させていただければと思います。

(岩協会長)

ありがとうございました。小林委員。

(小林委員)

私も高島委員と同じく、今日が最後でありますので、手を上げさせていただきました。西区全体の予算であります。前年度比マイナスということがございます。中身を見ますと、新規だけでも2,300万強あるわけですが、どこが大きく減ったのか、わかるところで結構ですが、教えていただければと思います。

(岩協会長)

では担当課、お願いします。

(真田副区長)

先ほどお話したように、前年度に比べまして、約1億200万円の減なのですが、その中で一番大きいのは西出張所の庁舎の解体事業、こちらが約7,000万という形になりますので、半分以上がそれによる減になります。

(小林委員)

新規だけでも2,300万円ほどあるわけでしょう。その部分をどこかで削っているのでしょうか。

(真田副区長)

実は結構新規の中で人件費が増えているというところがございます。西区は職員のほうが今までも数少ない。多いように見えますが、結構他の区と比べて少ないのです。頑張ってきたところを追加の要望をさせていただきまして、そこがやっと標準化されてきたということで、結構職員1人増えると額が増えるということがございますので、人件費が増えています。

(小林委員)

イベントとかが減ってということではないのですね。

(真田副区長)

イベントに関しましては、内容の見直し等をさせていただいて、まるっきりなくすということよりも、節約できる所は節約するという形を取るという形になります。物によっては来年度になりまして、またやり方を変えていくものもたくさんあるかと思います。そのときに皆さまのほうから、ご意見を伺えるものがあれば、伺ってまたやって行きたいと思っております。

(岩脇会長)

よろしいでしょうか。

(小林委員)

一番私が今心配なのは、補助金等がどうなるのか。ここなのです。

(真田副区長)

基本的に地域に下りていく補助金に関しては、今年度と変わらないと伺っております。また新年度に入りましたら、自治町内会長の皆さまに関しまして、また事業説明会をやらせていただきますので、そのときに詳しい資料をお出ししながら説明させていただければと思います。

(小林委員)

分かりました。

(岩脇会長)

あともうお一方。渡邊委員、お願いします。

(渡邊委員)

健康寿命の延伸ということ、先ほど市長からの市の予算の中でも少し触れていましたが、口腔機能の維持、口腔機能、いわゆる歯です。これをやはり推進する必要があるのではな

いか。これが一番ポイントではないかと考えております。今西区の予算を見ていますと、こうした所に振れたのか振れてないのかよく分からないのですが、振れていなければ、今後そういう考えを取り入れるというか、話になっているかどうかをお聞きしたいのですけれども。

(渡部健康福祉課長)

健康福祉課の渡部です。今おっしゃられた口腔の部分について、区づくりの予算の中では、子どもも高齢者も生活習慣病の予防講座というのがあって、ここに今まではいわゆる地域からの求めに応じてお邪魔をしていたのですが、来年からは子育て支援センターから要望がありまして、やはりそうした所にお邪魔させていただいて、歯科のいわゆる歯の講座ですとか、いわゆる高齢者の方もそうですし、子どもも加えて、そういう口の健康、そうした所に区づくりの事業としても取り組んでいきたいということで予算化は一応しております。よろしくをお願いします。

(岩協会長)

ありがとうございました。時間もまいりましたので、ここで打ち切らせていただきたいと思えます。

〈4 報告(3) 新たな「にいがた交通戦略プラン」について〉

(岩協会長)

続きまして、「にいがた交通戦略プラン」についてです。担当課の西山課長からお願いします。

(西山都市交通政策課長)

都市交通政策課長の西山と申します。よろしくお願ひいたします。私からはお手元の資料6、「新たな「にいがた交通戦略プラン」について」ということで、5分程度お時間を頂戴いたしまして、ご説明をさせていただきたいと思えます。それでは着座にて進めさせていただきます。

お手元の資料左上「背景と目的」の部分をご覧いただきたいと思えます。本市の交通政策の基本方針でございます「にいがた交通戦略プラン」につきましては、平成20年に策定して以降、おおむね10年が経過する中、これまでの取り組みの振り返りを行うとともに、本市の拠点性の向上、人口減少、少子高齢化などの課題に対応するため、現在のプランを見直し、今後10年間を見据えた新たなプランとして、本年7月ごろの策定を目指しまして、現在作業を進めているところでございます。

その中で新たなプランに対しまして、市民の皆さまのご意見を頂戴いたしますパブリックコメントというものを、4月8日から5月7日までの間で行うこととしております。引き続き資料の左の中ほど、本市の現状およびこれまでの取り組み評価をご覧いただきたい

と思います。本市の現状といたしまして、先ほど申しました人口減少、少子高齢化の進展や運輸部門におけます二酸化炭素の排出量、これが政令市でワースト1位であることなど、さまざまな課題がございます。

そのような中、現在のプランにおきまして、道路や公共交通、歩行者や自転車などの交通施策に取り組んできたところでございます。その結果といたしまして、長く減少傾向にありました路線バスの利用者数の下げ止まりや、区バスや住民バスの利用者数も増加を続けている一方で、マイカーでの移動が依然として多いほか、乗り換えに対する市民の皆さまの不満など、誰もが利用しやすい交通環境の実現までには至らず、取り組みはいまだ道半ばあると考えているところでございます。

引き続きまして、資料の右上、「新たな交通の将来像」の部分をご覧いただきたいと思います。本市の現状やこれまでの取り組みを踏まえまして、今後10年間で取り組むべき課題を整理いたしまして、本市の新たな交通の将来像を、県と新潟の拠点性と、安心して暮らせるまちといたしまして、目標は左側の1でございます。「県都新潟の拠点化を支える交通」と左側目標2「安心して暮らせることで選ばれるまちを支える交通」ということで目標を設定させていただいたところでございます。

続きまして、資料の右下の部分、「基本計画（案）」の箇所をご覧いただきたいと思います。新たな交通の将来像を実現するための基本計画案といたしまして、現在のプランにおいて取り組んでまいりました郊外とまちなかを結ぶ「都心アクセスの強化」、各地域での「生活交通の確保維持・強化」と「都心部での移動円滑化」。この3つの視点については、新たなプランでも継承していきますとともに、新たな視点を追加いたしまして、一つといたしますのは、本市の拠点性向上に向けた広域交通との連携強化とともに「市民や関係者との協働」を追加いたしまして、5つの視点で取り組みを進めていきたいと考えているところでございます。

引き続き基本計画（案）の欄をご覧いただきたいと思います。5つの視点の取り組みの方向性についてご説明させていただきたいと思います。まず1つ目の「都心アクセスの強化」につきましては、基本方針を「多核連携型のまちづくりを支える交通戦略」といたしまして、スムーズにまちなかや隣の区に行きやすくなるように、放射環状型の道路網を作り上げるとともに、鉄道、バス、タクシーなどの役割分担を図り、それぞれのつながりを強化していきたいと考えております。

2つ目の「広域交通との連携強化」につきましては、基本方針を「都市の活力と拠点性を強化する交通戦略」といたしまして、新潟駅や港、空港など、広域交通、拠点間の交通ネットワークがそれぞれ使いやすくなるように、それぞれをバスやタクシーでより円滑に連携させるとともに、まちなかとのつながりを強化したいと考えております。

3つ目の「都心部での移動円滑化」につきましては基本方針を「まちなかの賑わいを創出する交通戦略」といたしまして、まちなかの通過交通を減らし、歩行者、自転車、公共交通など、多様な交通手段を選択して、まちなかを回遊できるような環境を作り上げていきたいと考えております。

4つ目の「生活交通の確保維持・強化」につきましては、基本方針を「暮らしを支えるモビリティを地域で育む交通戦略」といたしまして、過度にマイカーに頼らなくても、安心して暮らせるように、徒歩や自転車で安心して移動できる空間を作り上げるとともに、区バスや住民バスの利便性向上などを図っていきたいと考えています。

5つ目になります。「市民や関係者による協働」については、基本方針を「みんなで築き上げる交通戦略」とし、みんなで育てられる公共交通となるよう、市民の皆さまや関係者と協働して取り組みを進めていきたいと考えております。この計画、基本方針（案）を加えました西区におけます今後の取り組みの方向性につきましては、引き続き、鉄道やバスを活用した都心アクセスの強化、区バスの利用促進、住民バスの運行支援のほか、各地域の需要に応じた適切な交通の手段の確保など、生活交通の確保維持・強化を図っていきたいと考えています。

また現在進めている取り組みにつきましても、より使いやすく、喜ばれる公共交通となるように、できることから確実に改善を進めていきたいと考えています。以上で新たな「いがた交通戦略プラン基本計画（案）」の説明を終わります。よろしくお願いいたします。

（岩協会長）

ありがとうございました。ただいまの説明について、何かご質問、ご意見等ございましたでしょうか。

私から一ついいですか。ここで皆さま方から地域の声をいろいろ聞いております。それで担当課の課長がご説明いたしました、この中に最も西区として関係があるのは結節点の問題です。ご説明によると、これはオブラートに包んだようなかたちで今後検討するということなのですが、やはり西区においてはイオンですね。この結節点が、冬場、乗ったことがありますか。あれを何とかしてほしいということをおっしゃっておりますし、それについても早急に検討していただきたいということでございます。

それともう一つは、せっかく内野駅がロータリー化しました。まだまだ一部路線しか入っておりません。ところが新潟交通との関係とか地域住民との合意が必要ですが、そうしたものを今早く具体的なものを、西区の地域交通として何とかしてくれということは、お願いはしてあります。

他に何か質問がございますでしょうか。ご意見。よろしいですか。じゃあないようですので、ありがとうございました。

（西山都市交通政策課長）

ありがとうございました。

（岩協会長）

地域課長、Qバスの区バス移行の件、説明をお願いします。

(堀地域課長)

これまでNPO法人さんが運行していただいていたQバス、坂井輪の住民バスでございますが、先週の3月23日、土曜日から、私ども区バスに移行いたしました。少しダイヤは若干変えたり、あるいは2台車両があるうちの1台をノンステップの小型化したバスを走らせております。お年寄りの方、傷がいの方もご利用してほしいバスになっております。ダイヤは若干いじってございますが、基本的には今までと同じ路線、基本的には同じダイヤで走らせております。ぜひ皆さま方のご利用をいただき、さらなる発展につなげていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

(岩脇会長)

ありがとうございました。

それでは続きまして、4番のその他の項でございます。次第の最後でございます。まず私からの提案でございます。本日で第6期が終了しますが、第7期の各部会が立ち上がるまでの間、運営会議に代わるものとして世話人会を立ち上げ、本会の課題調整などを行ってはどうかと考えておりますが、皆さま方、いかがでございますでしょうか。よろしいですか。

(異議なしの声あり)

よろしいですか、ありがとうございます。

それでは世話人会のメンバーとして、ご協力いただくメンバーとして、第6期の正副会長を加え、第1部会から大谷部会長、寺瀬副部会長、第2部会から郷部会長、風間副部会長、特別部会から佐野PT1の副部会長、永吉PT2の部会長、第3部会から私と永吉会長の2人ということで事務局と協議しました。以上9名の皆さんでお願いしたいと思えます。それでよろしいでしょうか。よろしいですか。

<異議なしの声>

ありがとうございました。ということで、皆さま方、委員の皆さま方におかれましては、事務局から詳細について連絡が行くと思えます。加野委員の説明はいいですか。

(加野委員)

少しだけ。

(岩脇会長)

では加野委員がその他でお話をしたいということで、お願いいたします。

(加野委員)

皆さんのお手元に西区各圏域の支え合いのしくみづくり会議や支え合いのしくみづくり推進員の活動を報告しますということで、今日、資料の中に入れてさせていただきました。

支え合いのしくみづくりについて、今年度より具体的に、例えば買い物困難の方について、地域でいろいろ取り組みが始まっていたり、あとはマンパワーの充実のために大学生だったり、あとは民間企業や社会福祉法人の社会貢献についての可能性を探るなど、さまざまな動きが出ております。ぜひご自身のお住いの地域の取り組みについてお読みいただくとともに、他の地域でもこんな取り組みが始まっているのだということをお読みいただければありがたいと思います。またご意見等ありましたら、ぜひお聞かせください。以上です。よろしくお願いいたします。

(岩協会長)

ありがとうございました。少し参考までに、今日のNHKの朝の番組をご覧になりましたか。坂井輪まち協が出てきましたね。皆さん、すごいね。やっていることは前にきいたのですが、やはり実行するということが必要でございますので、そうしたら支え合いの委員の提案も、皆さま方地域の課題ということも捉えて、一つ協力していただきたいと思っております。

それでは事務局から何か。

(事務局)

それでは事務局よりご連絡をさせていただきます。今期の自治協議会は本日をもって最後になります。これまでありがとうございました。第7期となります平成31年度西区自治協議会の会議開催についてでございますが、年度当初は皆さまのご日程も込み合うと考えられますことから、事務局のほうで運営会議とご相談させていただき、取り急ぎ、4月と5月の日程を調整させていただきました。4月の第1回会議は、4月24日、水曜日、午後3時から、会場は同じく西区役所健康センター棟3階、ことらの大会議室になります。なお、当日は午後1時半から新人委員向けのオリエンテーションを開催する予定でございます。5月の第2回会議につきましては、5月30日、木曜日の午後3時から、会場は同じく西区役所健康センター棟、こちらの3階大会議室でございます。

第7期の委員の皆さまには改めて文書にてご案内をさせていただきます。年度初め、ご多忙のところ、誠に恐縮でございますが、ご出席を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。また来期の部会についてでございます。4月に入りましたら事務局より各部会の所属希望調査を委員の皆さまへ送付をさせていただきます。各委員の希望をもとに各部会の人数調整等を行いまして、4月中には所属部会委員案をまとめさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

その他資料にあります。A3横の織り込んであります「新潟市財産経営 NEWS 広報紙第5号一緒に考えませんか。坂井輪地域のまちづくり」をご覧いただければと思います。現在新潟市では全市的に、おおむね中学校区ごとに、将来の公共施設のあり方を示します「地域別実行計画」を順次、地域のみなさんと協働で策定することとしております。

今回、坂井輪地域におきまして、新通小学校の分離新設をきっかけとしまして、新通小

学校の余裕教室の有効利用や、老朽化した施設など、公共施設の今後のあり方について、昨年の9月から地域の皆さんからワークショップなどによりご意見をいただき、この度、坂井輪地域の実行計画（案）を策定させていただきました。こちらは2ページから3ページに記載がございます。この広報紙につきましては、4月1日付で坂井輪地域の全世帯に配布させていただきます。また坂井輪地域の方からご意見を頂戴するものでございますが、本日は委員の皆さまからもご覧いただきまして、ご意見等ございましたら、また後ほど事務局までお寄せいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

その他の資料につきましては、広報紙等がございますので、後ほどご覧いただければと思います。事務局からは以上でございます。

（岩協会長）

ありがとうございました。それでは第6期最後の自治協議会となります。退任委員より一言ずつごあいさつをいただきたいと思います。なお、時間の都合もございます。送別会にお別れ会に参加される方は後ほど会場にてあいさつをいただきたいと思います。それでは私から順次指名させていただきます。簡単に一言だけでよろしいのです。小林委員。お願いいたします。

（小林委員）

1号委員の小林です。はじめは戸惑いましたけれども、本当にここへ来てよかったと思うのは、やはり地域とのか関わり、これが大変勉強になりました。これをまた私の次の方に引き継いでいきたいと思います。短期間ではありましたがもお世話になりました。ありがとうございました。

（岩協会長）

では続きまして、佐藤委員、お願いいたします。

（佐藤委員）

私も同じく短い間でしたが、あっという間の2年間でございました。いろいろなことを皆さんからお聞きして、個人的には大変勉強になりました。皆さんに対して一言も意見を申さないと言って、会長から先ほど怒られましたけれども、これも私の人間形成に大きな一言であり、また皆さんからのご意見を身に染みるほど染みましましたので、大変わがままな2年間でございましたが、ありがとうございました。以上でございます。

（岩協会長）

では続きまして、近藤委員、お願いします。

（近藤委員）

P T A連合会で来ました近藤です。本当に2年前来たときは本当に訳が分からなかったのですけれども、ここを通して西区のことですとか、いろいろな地域の話し合いすることもできましたし、2部会で講演会をさせていただいて、すごく良い経験をさせていただきました。本当に2年間、ありがとうございました。

(岩協会長)

続きまして古俣委員。

(古俣委員)

私も短い2年間でありましたけれども、いろいろとお勉強させていただきました。大谷会長さんの所で一生懸命、ちょっとみんなと慣れたかなと思ったら、もう駄目だということで、非常に残念だと思います。でも皆さん、楽しく仲間に入れていただいて、うれしく思います。今後ともよろしく、どこかでお会いしましたら声をかけてください。よろしく願います。ありがとうございました。

(岩協会長)

続きまして塩川委員。

(塩川委員)

2期4年間務めさせていただきました。皆さまのためになったかどうかはちょっと分かりませんが、なっていないのではないかと思います。今後ともまたよろしく願います。4年間、ありがとうございました。

(岩協会長)

続きまして、渡邊正友委員、願います。

(渡邊委員)

第1部会とそれからP T 2の所属をさせていただきまして、第1部会では現地調査とか現地へ行って、いい思い出になりましたし、また本当に分からないことがたくさんありまして、こんなに課題があるのかということも分かりました。これからどんどん良くなっていくなという感じがいたします。

また、P T 2につきましては、毎年のように参加する方が多くなってきて、去年は1,000人ほど来たという。今後もまた、今年は少し少ないかもしれませんが、また来年以降、またどんどん発展していくなという感じがいたします。とにかく大変長きにわたってお世話になりました。ありがとうございました。

(岩協会長)

ありがとうございました。2年間の方もおられますし、4年間の方もおられます。ということでもうありがとうございました。

続きまして事務局から職員の異動でございます。では報告お願いいたします。

(笠原区長)

それでは、私から少しお時間をいただきまして、西区の幹部職員、自治協メンバーでございます幹部職員の異動につきまして、ご照会させていただきます。いまだ内示の段階でございますが、3月31日付で退職する者、そして4月1日付で異動する者をご照会させていただきます。はじめに区民生活課の五十嵐課長でございますが、この度、南区産業振興課長として異動をすることになりました。後任には、人事委員会より佐藤という者が務めさせていただきますので、どうかよろしくをお願いいたします。

(五十嵐区民生活課長)

区民生活課の五十嵐です。2年間どうも本当にありがとうございました。私は仕事柄ごみの関係で、西川、新川、海岸清掃に区長と一緒に参加させていただきました。西区の皆さま、ご自分の住まれる住まい、本当に良くしたいのだ、きれいにしたいのだ、守っていきたいんだという熱い思いを感じました。その熱い思い、次の南区においても参考にさせていただきながら、西区に負けないう、南区を今度は盛り上げていきたいと思っておりますので、またよろしくお願ひしたいと思ひます。本当に2年間どうもありがとうございました。

(笠原区長)

続きまして建設課の古俣建設課長でございます。この度本庁の土木総務課長といたしまして異動することになりました。後任には、今現在西区建設課の補佐をしております阿部建設課長補佐がそのまま建設課長になります。どうか引き続きよろしくお願ひいたします。

(古俣建設課長)

建設課長の古俣です。本当に長いようで長かった3年間ですけれども、いろいろなことがあって、大雪をはじめ、いろいろとにかく24時間営業で頑張ってきたつもりでございます。本当に皆さまから温かいお言葉なり、激励なりをいただいて、除雪を乗り切ったりだとか、ご意見、ご要望をいただいて中で仕事をやってこられたなど。西区にかれこれ五十何年住んでいますけれども、またこれからも西区に居続けるので、またどこかで見かけたら、お声がけいただきたいなど。今度は本庁にいきますけれども、また道路の関係の仕事でございます。また少し別の視点から西区を何とかより住みやすい西区になるよう、取り組んでいきたいと思ひしております。本当にどうもありがとうございました。

(笠原区長)

それでは続きまして、西出張所でございますが、吉田西出張所長が3月31日付をもちまして退職となります。後任には、環境部より、熊倉という者がまいりまして、4月以降務めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

(吉田西出張所長)

西出張所の吉田です。1978年から40年間役所生活をやっておりましてけれども、3月でピリオドを打たさせていただきます。そのうち、ここではわずか1年間なのですが、本当にこの間いろいろとお世話になりまして、ありがとうございます。西区自治協議会の益々のご活躍をご祈念申し上げまして、簡単ですがあいさつに代えさせていただきます。どうもありがとうございました。

(笠原区長)

最後になりますけれども、事務局でございます。地域課の佐藤課長補佐が、この度、4月1日付で北区教育支援センター長として異動となります。

(佐藤地域課長補佐)

2年間ではございましたが、自治協委員の皆さまにはお世話になりました。ありがとうございました。

(笠原区長)

以上でございますけれども、引き続き、残った者、そして4月から新たに務めさせていただきます者ともども、4月以降、また西区の発展のために精一杯頑張ってまいりますので、どうか引き続きご協力いただきますよう、よろしく願いいたします。大変どうもありがとうございました。

(岩協会長)

異動される方、また辞められる方、どうも長い間ご苦労さまでございました。五十嵐課長におかれましては、自分の家から2～3分の生活拠点に異動するというところでございます。また古俣課長におかれましては、これから第1部会の所管であります、いろいろな課題があります。そのときは必ず第1部会のほうに来ていただけると期待しておりますので、これからもよろしく願いいたしたいと思っております。どうもありがとうございました。

それでは以上をもちまして、本年度最後の自治協議会の全ての議事を終了させていただきます。活発また円滑な議事進行にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。どうもありがとうございました。

(終了)